

〈粉碎・分割をしてはいけない薬剤について〉

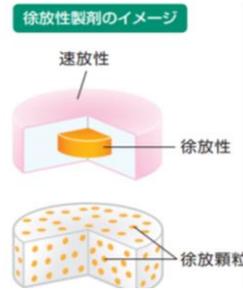
①徐放性製剤

徐放性製剤とは？

投与回数の減少、または副作用の軽減を図るなどの目的で製剤からの有効成分の放出速度、放出時間、放出部位を調節した製剤。

徐放性製剤に使用される略語

R	Retard	遅らせる
L	Long Acting	長く効く
CR	Controlled Release	放出をコントロールする
LA	Long Acting	長く効く
SR	Sustained Release	放出を持続させる
TR	Time Release	持続放出
復効錠、グラデュメット錠		



※略語のついていない徐放性製剤もあります

粉碎してしまうと…

急激な吸収や一過性の血中濃度上昇をもたらし、過量時の副作用発現と持続性の消失による治療への悪影響が考えられます。

②腸溶性製剤

腸溶性製剤とは？

有効成分の胃内での分解を防ぐ、または胃に対する刺激作用を軽減させるなどの目的で、有効成分を胃内で放出せず、主として小腸内で放出するよう設計された製剤。

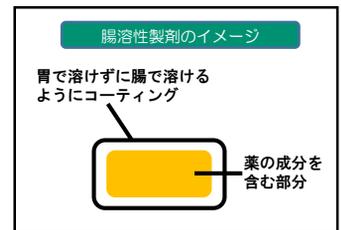
腸溶性製剤に使用される略語

EN	Enteric	腸の
----	---------	----

※略語のついていない腸溶性製剤もあります

粉碎してしまうと…

胃腸障害発現の可能性、胃酸による失活のため治療効果が現れないなどの悪影響が考えられます。
(経管投与において留置チューブの先端が胃より下部である場合は粉碎可能)



③フィルムコーティング製剤

フィルムコーティング製剤とは？

胃腸障害などの副作用の軽減、遮光や防湿の目的、味やにおいの隠蔽などを目的にフィルムを施した製剤。

粉碎してしまうと…

遮光・吸湿性

遮光や防湿の目的でフィルムを施した製剤は、粉碎により酸化分解が進んだり吸湿による湿潤などの悪影響が考えられます。

味・におい

味やにおいの隠蔽の目的でフィルムを施した製剤は、粉碎により苦み・酸味・不快臭等の感覚器への悪影響が考えられます。

④配合錠

配合錠とは？

二つ以上の成分をまとめて一つの錠剤へ成形した製剤。

例えば、こんな処方・・・
テラムロ配合錠AP 0.5錠 1日1回 朝食後
半分にして大丈夫？

テラムロ配合錠AP
＝テルミサルタン40mg＋アムロジピン5mg



1錠の中に成分が均等に分布
されているわけではない！

ダイフェン配合錠 0.5錠 1日1回 朝食後
半分にして大丈夫？

ダイフェン配合錠
＝スルファメトキサゾール＋トリメトプリム錠



割線模様ではなく割線であるため
分割してもよい！

分割してしまうと…

分割するとそれぞれの成分量が不均等になるため分割不可となります。

配合錠で割線がある薬剤でも分割できないものもあります。

薬剤の粉碎・分割についてご不明な点がございましたら、
投与前に薬剤部にご連絡ください

<当院採用薬>

徐放性製剤

ジソピラミド徐放錠	テオフィリン徐放錠	ニフェジピンCR錠	ニフェジピンL錠
バルプロ酸Na徐放A錠	プラミペキソール塩酸塩LA錠	ベタニス錠	メサラジン錠

腸溶性製剤

アサコール錠	アザルフィジンEN錠	カルナクリン錠	サラズルスファピリジン腸溶錠
バイアスピリン錠	ビドキサール錠	プロセキソール錠	ラベプラゾールNa錠
リアルダ錠			

※バイアスピリン錠：川崎病、急性心筋梗塞ならびに脳梗塞急性期の初期治療に用いる場合は粉碎可。

割線がない配合錠(分割不可)

エクセラゼ配合錠	エクメット配合錠HD	オーグメンチン配合錠	カナリア配合錠
グリチロン配合錠	セlestamin配合錠	テラムロ配合錠	テルチア配合錠
トアラセット配合錠	トラベルミン配合錠	ビジクリア配合錠	ヘモナーゼ配合錠
ミコンビ配合錠	レザルタス配合錠	ロレアス配合錠	

吸湿性があるため粉碎不可

アスパラカリウム錠	アミサリン錠	エルカルチンFF錠	クレメジン速崩錠
セルニルトン錠	リマプロストアルファデクス錠	リンゼス錠	

△薬剤師に要相談

イムラン錠 → 粉碎後は防湿遮光保存 免疫抑制剤	ウブレチド錠 → 防湿保存	エクア錠 → 薬物動態や有効性、安全性について検討していない	エトドラク錠 → 苦い
エパルレスタッド錠 → 粉碎後は遮光保存	エフィエント錠 → 防湿、遮光保存	エペリゾン塩酸塩錠 → 防湿、遮光保存。苦い	エンテカビル錠 → 防湿、遮光保存
カモスタットメシル塩酸塩 → 防湿、遮光保存。苦い	クラリスロマイシン錠 → 苦い	コートリル錠 → 吸湿性がある。防湿保存	サアミオン錠 → 原薬が光により徐々に着色
サワシリン錠 → 防湿保存	ジクロフェナクNa錠 → 吸湿性がある	ゾピラックス錠 → 苦い	ゾフルーザ錠 → 苦い
デベルザ錠 → 錠剤が粉碎された状態での薬物動態解析、有効性試験、安全性試験は実施されていない	トリメブチンマレイン酸塩錠 → 主成分は苦味あり。口内刺激感が強いことが予測される。	ヒルナミン錠 → 光に不安定。分解する可能性がある。遮光保存。	ナイキサン錠 → 遮光保存
ニコランジル錠 → 防湿、遮光保存	ノイロトロピン錠4単位 → 湿度依存的ににおいあり	フィコンバ錠 → 遮光保存	フラジール内服錠 → 苦い。光により変化する
マプロチリン塩酸塩錠 → 苦味が強く舌を麻痺させる	メスチノン錠 → 湿気により潮解するため、防湿保存	レスタミンコーワ錠 → 味は苦く、舌を麻痺させる。光によって徐々に変化する	

×粉碎不可

インデラル錠 → 光により着色。粉碎時のデータなし。	エサンブトール錠 → 吸湿性高く、苦い。2週間まで投与可。それ以降、含量低下。	エリキユース錠 → 粉碎後の安定性、有効性、安全性のデータなし。	エリスロシン錠 → 胃酸に不安定なため粉碎不可。モチリン様作用を期待する場合は粉碎可。
オルミエント錠 → 分割、粉碎時の有効性及び安全性に関するデータがない。	コレバイン錠 → 吸湿性が高いため、服用時水によって膨潤し、服用が困難になる場合がある。	サイトテック錠 → 吸入による調剤者への悪影響のため粉碎不可。(子宮収縮作用) 吸湿性高い。	スインプロイク錠 → 粉碎時の安定性試験において類縁物質の増加が認められるため粉碎不可
炭酸リチウム錠 → 粉碎品では原薬(強アルカリ物質)による刺激性のため胃腸障害の可能性あり	トラゼンタ錠 → データなし	バリキサ錠 → 有効成分には催奇形性及び発がん性のおそれがあるため錠剤を粉碎しないこと。	フェブリク錠 → 情報不足のため粉碎は推奨されない。
フォシーガ錠 → 粉碎時のデータなし	ブスコパン錠 → 強い苦味あり	メチコバル錠 → 光により含量低下	ラロキシフェン錠 → 皮膚刺激あり
リセドロン酸Na錠 → 口腔内刺激の可能性あり	リマチル錠 → SH基特有のメルカプタン臭あり。吸湿により分解する。		

参考文献

各薬剤添付文書

錠剤・カプセル剤粉碎ハンドブック

第一三改訂 調剤指針 増補版 日本薬剤師会編 薬事日報社

薬剤部実習生 上水流 亜美

指導薬剤師 岸本 真、北園 幸大